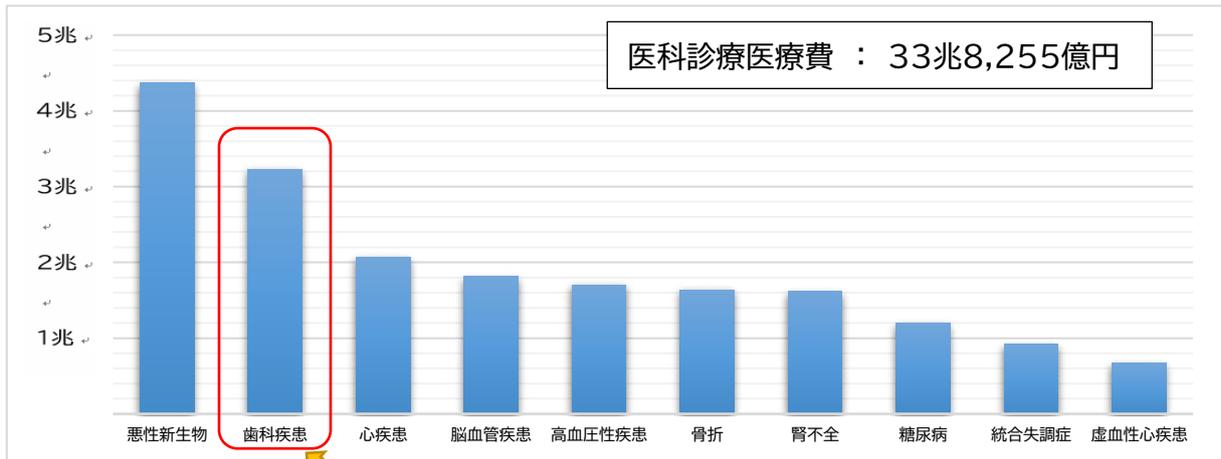


令和7年度の重点的な取り組み（ 歯科保健の現状 ）

第3次健康増進計画については7つの分野別に取組みを進捗管理しており、内容が多岐に渡るため、年度単位で重点分野を決めて計画を推進していきたいと考えております。

1 国民医療費の現状(令和4年度国民医療費)

1) 医科診療医療費



2) 歯科診療医療費

歯科診療医療費 : 3兆2,275億円

歯科診療医療費は、医科診療医療費と比較した場合、悪性新生物に続く医療費となっています。

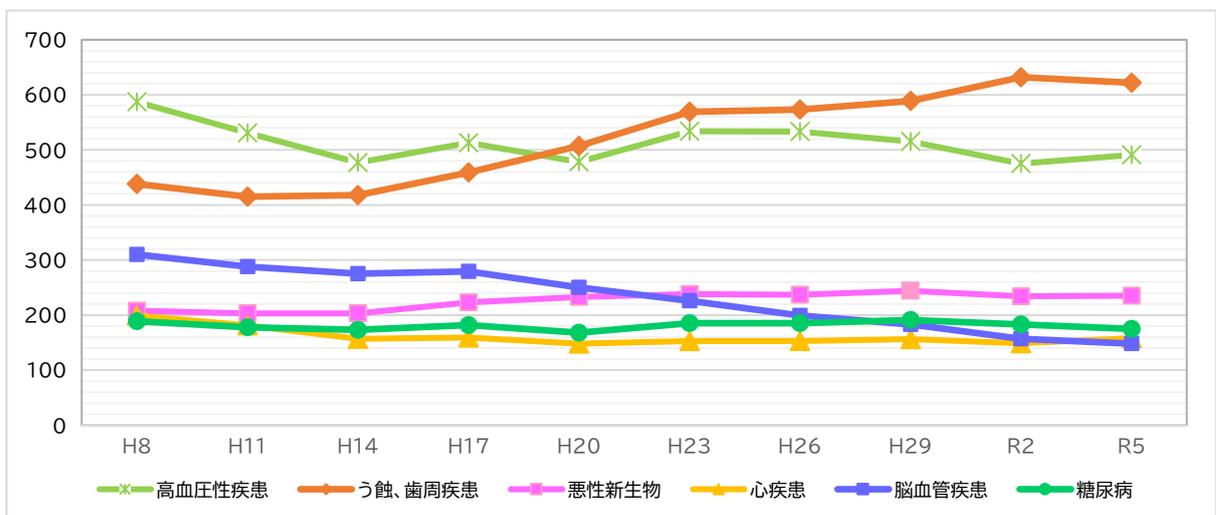
2 推定患者数の現状(令和5年度患者調査)

1) 受療率の推移

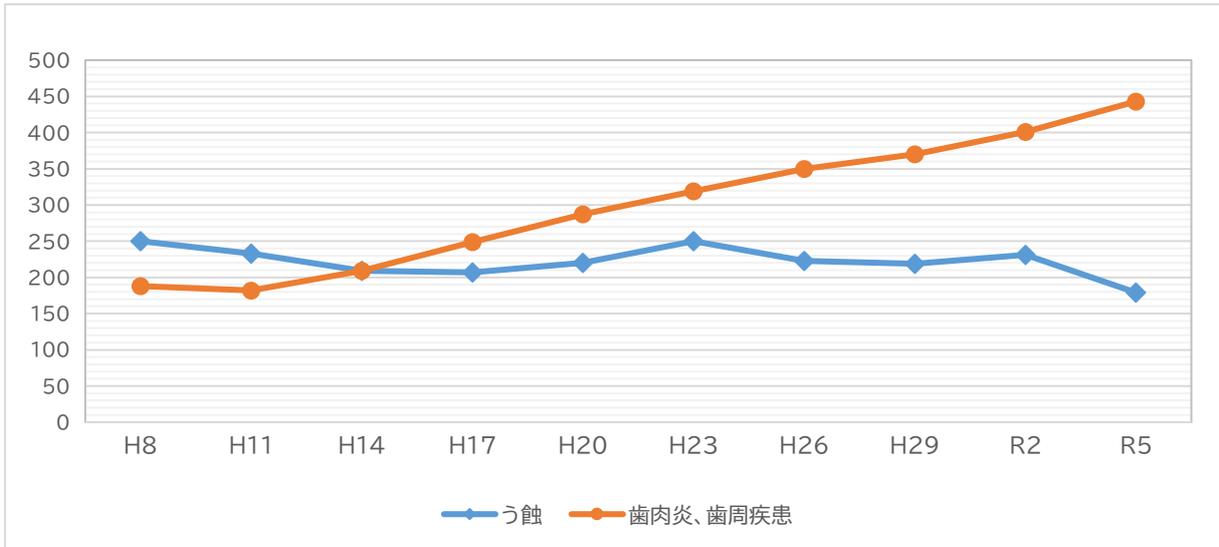
「う蝕、歯周疾患」の増加が見られます。

全国より抽出された医療機関を指定した日に受診した患者が調査対象

※調査日に受療(入院、外来含む)した推計患者数と人口10万人あたりの比率



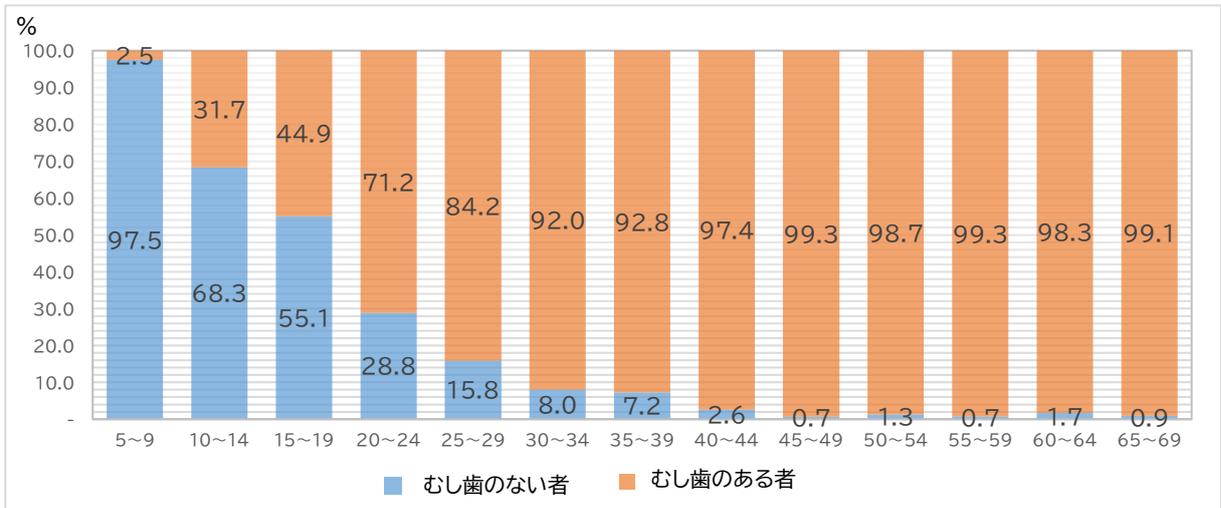
歯科疾患のみ推定患者数の推移



3 歯科疾患の傾向(令和 4 年歯科疾患実態調査)

調査区に設定された区域内の満 1 歳以上の世帯員を報告者とし、任意の日
聞き取りや、口腔診査を受ける。

1) むし歯のある者、ない者の割合

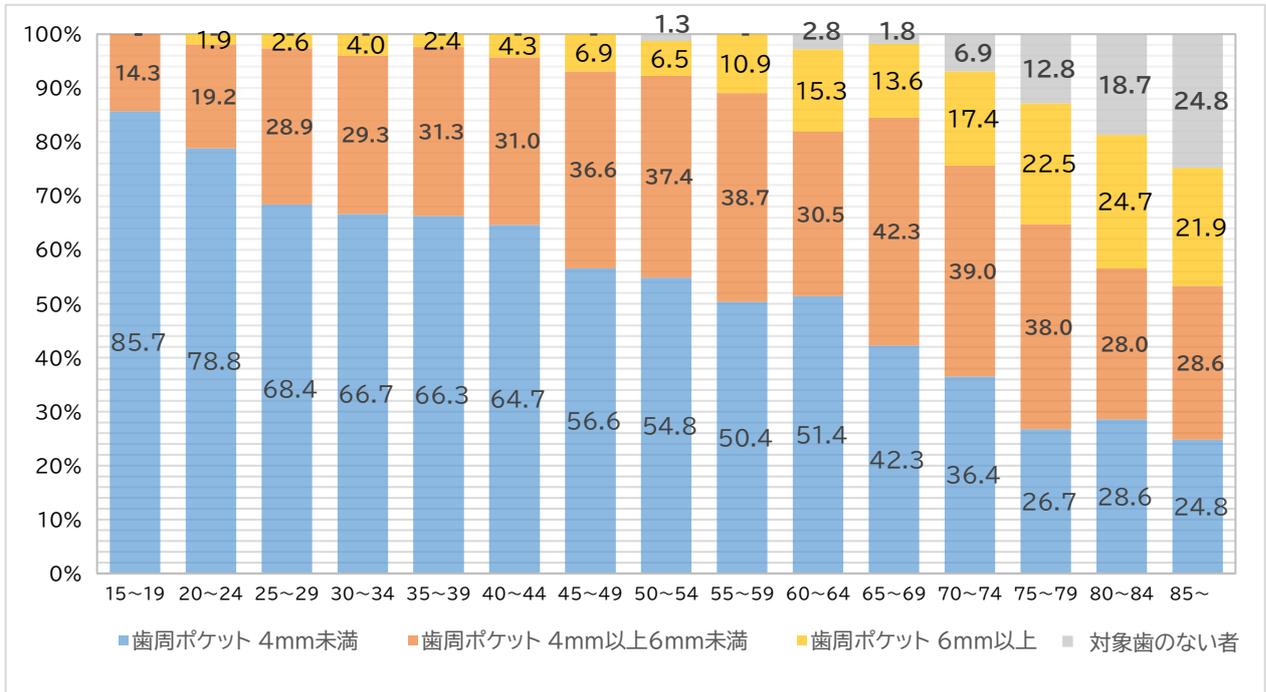


2) むし歯のある者のうち、各年齢構成別の平均むし歯本数: 20 歳以上

20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
3.9	5.9	8.1	9.7	11.8	13.9	16.2	16.7	18.5	19.7	21.7	23.9	25.4	27.1

(参考) 永久歯は 28 本。親知らずを含めると 32 本。

3) 歯周ポケットが4mm未満の者、4mm以上6mm未満ある者の割合、6mm以上ある者の割合(15歳以上、永久歯)



下記の表「各年齢段階で喪失している歯の平均本数:親知らずを含め全32本とした場合」

30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
0.51	0.76	0.51	0.96	2.14	2.36	4.16	5.05	8.09	11.52	14.36	16.03

歯を喪失する理由として、37%が歯周病、29%むし歯、18%が破折であり、歯周病とう蝕で喪失する割合の合計は全体の66%を占めています。

歯周病は歯を支える歯肉や歯を支える骨(歯槽骨)が壊されている病気で、本人の自覚のないまま進んでいきます。

口腔の健康は、生活の質に関わるだけではなく、全身の健康に影響すると言われています。歯科健診を受けることの必要性を個々が考えることができ、小さなころから口の健康に対して興味を持ち、予防をしていくことができるよう、体制や取組みについて検討してまいりたいと思います。